

特集



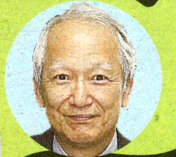
恐竜学博物館の展示室からオンラインで会合に参加中の私。恐竜学博物館の展示紹介はこのやり方で行いました

オンラインで学会

岡山理科大学恐竜学博物館館長

石垣忍

恐竜調査隊が行く



第58回

まめ豆知識

実は2020年の6月下旬、日本古生物学会(会員約1000人)は、岡山理科大で年会をやる予定でした。しかしコロナで中止になり、結局2021年、岡山理科大が中心になってオンラインでやりました。最初は参加者もとまどっていたのですが、最近はずいぶんみんな慣れてきたなあと感じます。

コロナが広がって、みんな「オンライン」に慣れざるを得なくなっていました。小中高校も大学も授業がオンライン、仕事のやり取りや会議もオンライン、就職面接までオンライン。学問の世界で

は、このところ学会はみんなオンラインです。

良いところもあります。

発表が「聞こえにくい」と

「見えにくい」という問題がなく集中してよく聞けます。

自分の使い慣れた机から参加

やっぱり「対面」も必要

できるのでメモも取りやすい。休憩時間をうまく使えば仕事や家庭生活と学会の両立もできます。遠くの開催地まで行く必要がなく、参加費も安いので時間とお金の節約になります。特に海外の学会にも気軽に参加できます。実際、参加者数を見るとオンラインの方が圧倒的に多いのです。さらに、私がパソコンを前に参加している後ろで、ゼミの学生がその様子を見ていれば、彼らもとても勉強になります。これは普通の学会ではできません。

けれども、でもです！ やっぱり対面でないといけないことがあります。それは皆さんが、学校の授業がオンラインになった時に感じたことと同じでしょう。深い議論ができないこと、一緒にご飯を食べたり楽しい話をしたりできないこと、新しい友達ができないこと、などなど。それは学問の世界もまったく同じですよ。学問も人と人のつながりで大きく進むのです。特に、これからどのつながりを作っていくか

動画も楽しもう



石垣忍館長のメッセージは左のQRコードから。